

2025 年 5 月 28 日

虎の門病院における無痛分娩看護マニュアル【看護部】

虎の門病院 11 階南西病棟

1. 対象

無痛分娩の希望があり、医学的に無痛分娩が望ましいと医師が判断した方。希望者は無痛分娩担当医師が情報集約し、産科・小児科・看護部で情報共有が出来るよう電子カルテ上のカレンダーに登録する。さらに、毎月行う周産期ミーティングで産科・小児科・看護部で情報共有する。

2. 実施日

平日の計画分娩を原則とする。

3. 妊娠中の手続き

- 1) 妊娠 16～20 週の分娩申し込み時に初回の希望を調査する。
- 2) 妊娠 35～36 週頃 産科外来で無痛分娩の説明を実施し、麻酔科外来を受診する。

4. 入院日

- 1) 前日入院（初産婦は午前入院、経産婦は午後入院）を原則とする。
- 2) 原則として入院日に医師が内診・診察を行う。
- 3) NST モニターを装着し、胎児心拍モニタリングを行う。

5. 無痛分娩当日

- 1) 朝食摂取後に排尿を済ませ、手術衣に更衣する。
- 2) 原則、分娩当日はシャワーは不可とする。
- 3) NST モニターを装着し、胎児心拍の観察を行う。
- 4) モニター所見に問題がなければ、分娩誘発を開始する。
- 5) 原則として、午前 9 時頃に麻酔科医師が硬膜外カテーテルを挿入する。
- 6) カテーテル挿入時は助産師あるいは看護師が介助する。挿入時は、SPO2 モニター、心電図、自動血圧計でバイタルサインの観察を 2.5 分間隔で行う。カテーテル挿入後は問題がなければ、測定間隔を 5 分、15 分と変更する。
- 7) 硬膜外麻酔挿入時は家族の立ち会いは不可とする。
- 8) 子宮口 5 cm を目安に硬膜外麻酔からの鎮痛薬投与を開始する。
- 9) 麻酔開始後は、決められた 2.5 分～15 分の間隔でバイタルサインの測定を継続する。

- 10) 麻酔開始 1 時間後以降は測定を 30 分間隔とするが、必要に応じて変更する。血圧低下、徐脈、呼吸抑制に注意する。
- 11) 麻酔中の投薬については、麻酔科医の指示のもと実施する。
- 12) 分娩後の硬膜外カテーテル抜去は、原則分娩後 2 時間で産婦人科医師が抜去する。
- 13) 麻酔中の副作用が出現した際には、麻酔担当医師に連絡する。